



# 学校だより

令和6年1月31日

No. 11 2月号

横浜市立篠原西小学校

ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shinoharanishi/>

## 目標に向かって…

副校長 永島 裕美

後期後半がスタートし、全学年書初めに取り組みました。出来上がり、廊下に掲示された作品を見ると、「一生懸命練習したのだろうな」「一画一画集中して書いたのだろうな」と、子どもたちのがんばりが伝わってきました。そして、かつての自分を思い出しました。

私自身、字を書くのが苦手で、書初めで苦勞する子でした。苦手を克服したいと思い、母に頼んで書道教室に通わせてもらいました。練習を重ねるうちに、少しずつ上達していくのを感じました。そのうち、字を書くことが苦ではなくなり、書初めが楽しいものになりました。冬休み明けに学校で行う書初めで、納得がいく字を書くことができるように、正月に何十枚もの新聞紙に文字を書いて練習したのを覚えています。きっと皆さんも冬休み中にたくさん練習をしたのではないのでしょうか。

書初めについて調べてみると、『書の上達を願う』というだけでなく、『正月二日を一年の事始めとし、その年の心構えや抱負などを書き記し、精進するとうまく物事が進む』とありました。実際に正月二日に書き記してはいなくても、今年目標や抱負を立てた人は多いと思います。自分の現状を見つめ直し、なりたい自分の姿を思い浮かべながら…。そして、その姿になるためにどうしたらよいかを考えたのではないのでしょうか。

ある学年の廊下には、今年目標が掲示されていました。掲示された中には、「漢字が苦手なので、漢字を覚えられるようにたくさん練習する」「はずかしがらずにいろいろな人にあいさつをして、よりたくさんの人と交流できるようになりたい」「早寝早起きをして気持ちのよい朝を過ごす」「6年生になったら最高学年なので、低学年のお手本になれるように頑張る」などがありました。

なりたい自分の姿になるために、何をするかを具体的に考えている様子が伺えました。きっと抱負や目標をじっくり考えたことで、今の自分と向き合い、課題に気付くこともできたのではないのでしょうか。思い描いた自分の姿が現実のものとなるよう、この一年、自分の目標や決意を心に刻み、時々振り返りながら生活して行ってほしいです。

保護者や地域のみなさまも、子ども達が目標に向かって励む様子を温かく見守っていただけたらと思います。

【お知らせ】～メール配信等に活用する連絡ツール、市立学校統一になります～

横浜市立学校では、ご家庭と学校との連絡に使用する連絡ツールについて、これまで学校ごとに運用していた連絡アプリを、令和6年度より、全ての市立学校で統一することになりました。それに伴い本校でも、専用アプリ「すぐーる」を利用することになりました。運用開始に向けて準備を進めているところです。保護者の皆様にも新たな連絡ツールとなる「すぐーる」への登録方法など、順次お知らせいたします。ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

〈本校の主なスケジュール〉  
2月中 新規利用登録等  
3月中旬 テストメール、試行期間  
4月～ 運用開始

※新1年生につきましては、先日の「入学説明会」の際に、すでにお知らせをしています。